

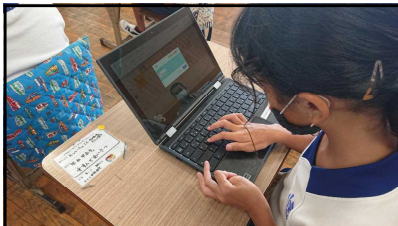
教育研究所だより

宮古島市立教育研究所
 指導主事 砂川 睦紀
 宮古島市平良字西里1140
 TEL 73-1104

今回は第21期研究員である平良第一小学校 上村俊介教諭（研究所メンバー最年少）の進捗状況をお知らせいたします。研究を進める中で見えてきた課題や方向性の修正など、日々悩みながら楽しみながら2年3組算数の授業改善に頑張っているところです。

「数学的な見方・考え方を働かせ主体的に学ぶ児童の育成」
 ～授業におけるICTの効果的な活用を通して～

4月からの理論研修を土台として、6月28日から検証授業期間に入っています。小学校2年生算数科「水のかさのたんい」の単元においてICTの効果的な活用について検証を行い、7月5日（月）第6時「違う単位の水のかさの比べ方は？」の授業で藏満逸司先生（琉球大学教職大学院准教授）を招聘しての検証授業を行いました。ジャムボードの付箋機能を使って自分の考えを記入したり、ノートに学習を整理したりと小学2年生でも上手にタブレット端末を使いこなしている姿がとても印象的で研究テーマに迫る授業展開でした。授業研究会では、藏満准教授や所長、幼小接続アドバイザーの宮國和美先生にも入っていただき、ICTの活用や本質的な授業改善についても多くの指導助言を頂くことができました。以下、検証授業・授業研究会のようす、授業者の研究日誌の「一日の感想」をそのまま紹介いたします。



←タッチペンでの手書き文字が交換される機能を使って自分の考えを入力する児童。中にはキーボードでローマ字入力する児童もいて、この子供が大人になる頃にはどうなっているのでしょうか。

「数学的な見方・考え方」を2年生ならではの発達段階を考慮して作成された「さんすうモンスター」として提示しています。この授業では総勢9匹の中の「そろえてみる」の『ソロちゃん』が大活躍でした。



検証授業6回目を迎えた。多くの先生方に参観していただき、子供達が一生懸命にタブレットを活用して取り組む姿を見ていただけたことに、感謝の気持ちでいっぱいである。初めて算数の授業で活用するタブレットを上手に使いこなす、意欲的に取り組む子供達の姿に元気とやる気ももらい、本日の授業を迎えることができた。本日の授業での課題は、明日からの授業で直ぐに改善できる内容もあれば、これから研究を進めていく上で改善していくべき課題もあった。「あなたは、もっともっと教師として成長することができるんだよ」と温かく助言して頂いた先生方に応えるためにも、引き続き研究に努めていきたい。そして、毎日の授業に一生懸命な姿で応えてくれる子供達への感謝の気持ちを忘れずに、更にビッグな先生になりたい。

【予告】来週の13日（火）には、久松中学校與那嶺誉代教諭による中学校理科1学年での検証授業が実施される予定です。お楽しみに～。